

10 物 品	—	57,022,030
車 両	1,381台	5,434,195
そ の 他	4,948	51,420,443
動 物	61頭	167,392
11 債 権	—	213,832,383
貸 付 金	—	212,605,438
そ の 他	—	1,226,945
12 基 金	—	170,338,348
財 政 基 金	—	388,110
県 有 建 物 復 興 基 金	—	9,444
災 害 救 助 基 金	—	2,318,155
災 害 援 護 基 金	—	386,970
土 地 基 金	—	18,114,034
美 術 品 等 取 得 基 金	—	3,623,549
市 町 財 政 等 調 整 基 金	—	6,543,173
公 共 施 設 整 備 基 金	—	4,243,428
勤 労 者 総 合 福 祉 施 設 整 備 基 金	—	17,626,149
勤 労 者 総 合 福 祉 施 設 運 営 基 金	—	29,865,684
県 債 管 理 基 金	—	44,466,676
地 域 振 興 基 金	—	8,462,663
芸 術 文 化 セ ン タ ー 事 業 基 金	—	8,762,990
芸 術 文 化 振 興 基 金	—	2,136,484
環 境 保 全 基 金	—	429,119
明 石 海 峽 大 橋 関 連 施 設 整 備 等 基 金	—	12,043,409
特 定 中 山 間 地 域 農 業 生 産 基 盤 保 全 基 金	—	1,702,794
介 護 保 険 財 政 安 定 化 基 金	—	7,803,980
中 山 間 地 域 等 農 用 地 保 全 支 援 事 業 基 金	—	40,864
森 林 整 備 地 域 活 動 支 援 事 業 基 金	—	115,671
国 民 健 康 保 険 事 業 広 域 化 等 支 援 基 金	—	1,211,210
離 島 漁 業 再 生 支 援 事 業 基 金	—	43,792
合 計	—	2,847,939,423

(参考)

- 1 数値は平成18年12月31日現在の公有財産台帳等によるものであり、企業会計及び準公営事業会計（港湾整備事業・流域下水道事業）に係るもの、道路台帳その他法令の規定により、別途台帳の整備を義務づけられているものは含まれていません。
- 2 土地の評価額は、平成17年5月31日現在の評価額です。
- 3 建物の評価額は、平成15年5月31日現在の評価額です。
- 4 山林・動産の評価額は、取得時の評価額です。
- 5 基金の現在高は、平成18年12月31日現在の残高です。

公 営 企 業 の 業 務 状 況

1 水道用水供給事業

(1) 事業の概要

この事業は、人口集中による水不足の予想される地域に対し、広域的に生活用水を供給することにより、県民生活の安定と向上を図ろうとするものです。

なお、広域水道における給水対象団体、計画給水量、平成18年度年間給水実績及び貯水施設は次表のとおりです。

また、主な事業の執行状況は第1表のとおりです。

名 称	浄水場系	給 水 対 象	計 画 給水量	貯 水 施 設		年 間 給水実績
				名称・所在地	施 行 主 体	
兵 庫 県 広域水道	多 田 系	尼崎市、西宮市、伊丹市、 宝塚市、川西市、川辺郡 猪名川町	164,100	一 庫 ダ ム (川西市一庫)	独立行政法人 水 資 源 機 構	22,303
	神 出 系	神戸市、明石市、三木市、 加古郡稲美町、加古郡播 磨町、淡路広域水道企業 団	146,300	吞 吐 ダ ム (三木市三津田) 大 川 瀬 ダ ム (三田市大川瀬) 川 代 ダ ム (篠山市大山下)	農林水産省 (共同施行)	22,399
	三 田 系	神戸市、三木市、三田市、 篠山市	120,000			15,850
	中 西 条 系	加古川市、高砂市	88,500			12,417
	船 木 系	西脇市、小野市、加東市	59,100	青 野 ダ ム (三田市加茂)	兵 庫 県 (共 同 施 行)	5,187
	船 津 系	姫路市、加西市、神崎郡 市川町、神崎郡福崎町、 揖保郡太子町	172,700	神 谷 ダ ム (姫路市豊富町) 長 池 (神崎郡福崎町) 黒 川 ダ ム (朝来市生野町)	兵庫県企業庁 (既設の池を改 修利用) 関西電力㈱ (共 同 施 行)	17,911
合 計			750,700			96,067

第1表 主な事業の執行状況

(単位 千円)

区 分	事業費	事業概要
浄水施設費	125,890	三田系 自家発電設備増設工事等
送水施設費	1,733,445	船津系 太子支線送水管布設工事等
用地費及び補償費	24,953	船津系 太子支線送水管布設工事に伴う移転補償等
調査費	8,168	船津系の管路台帳作成業務等
合計	1,892,456	

(2) 経理の状況

ア 予算の執行状況について

収益的収入及び支出並びに資本的収入及び支出の予算の執行は、第2表のとおりです。

第2表 予算の執行状況

1 収益的収入及び支出

(1) 収 入

(単位 千円、%)

区 分	予算現額 A	執行額 B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 水道用水供給事業収益	16,236,602	16,307,385	100.4
第1項 営業収益	15,772,619	15,833,203	100.4
第2項 営業外収益	463,973	474,182	102.2
第3項 特別利益	10	0	0

(2) 支 出

(単位 千円、%)

区 分	予算現額 A	執行額 B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 水道用水供給事業費用	15,366,245	14,953,976	97.3
第1項 営業費用	10,695,005	10,508,957	98.3
第2項 営業外費用	4,111,253	4,015,278	97.7
第3項 特別損失	509,987	429,741	84.3
第4項 予備費	50,000	0	0.0

2 資本的収入及び支出

(1) 収 入

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額			執行額 B	$\frac{B}{A} \times 100$	翌年度 繰越額
	現計予算額	繰越事業費	計 A			
第1款 資本的収入	8,483,757	848,000	9,331,757	9,060,508	97.1	264,000
第1項 企業債	6,546,000	424,000	6,970,000	6,837,500	98.1	132,000
第2項 国庫補助金	330,000	424,000	754,000	622,000	82.5	132,000
第3項 出資金	1,537,919	0	1,537,919	1,537,919	100.0	0
第4項 固定資産売却代金	10	0	10	0	0	0
第5項 諸収入	69,828	0	69,828	63,089	90.3	0

(2) 支 出

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額			執行額 B	$\frac{B}{A} \times 100$	翌年度 繰越額
	現計予算額	繰越事業費	計 A			
第1款 資本的支出	15,471,151	1,357,942	16,829,093	16,277,494	96.7	411,060
第1項 建設改良費	2,382,178	1,357,942	3,740,120	3,249,401	86.9	411,060
第2項 企業債償還金	12,990,099	0	12,990,099	12,990,097	99.9	0
第3項 国庫補助金返還金	48,874	0	48,874	37,996	77.7	0
第4項 予備費	50,000	0	50,000	0	0.0	0

(3) 企業債及び一時借入金の現在高

企業債の平成19年3月31日の現在高は、第3表のとおりです。

なお、平成19年3月31日現在一時借入金はありません。

第3表 企業債明細書

(単位 千円)

前年度末残高 (18. 3. 31)	本 年 度 増 減		本年度末残高 (19. 3. 31)
	発 行 高	償 還 高	
112,209,741	6,837,500	12,990,097	106,057,144

(4) 平成19年度の事業及び予算の概要

ア 業務の予定量

- (ア) 給水団体数 21市町・1企業団
- (イ) 年間総給水量 96,710,376立方メートル (対前年度比 102.3パーセント)
- (ウ) 1日平均給水量 264,236立方メートル
- (エ) 主要な建設事業
 広域水道建設費 1,073,322千円 神出・船津等の浄水場系の浄水・送水施設
 工事等を実施することとしています。

イ 予算の概要

(ア) 収益的収入及び支出

(単位 千円)

区	分	予 算 額
収 入	水道用水供給事業収益	16,359,954
	営 業 収 益	15,981,373
	営 業 外 収 益	378,571
	特 別 利 益	10
支 出	水道用水供給事業費用	15,777,352
	営 業 費 用	11,366,377
	営 業 外 費 用	3,871,088
	特 別 損 失	489,887
	予 備 費	50,000

(イ) 資本的収入及び支出

(単位 千円)

区	分	予 算 額
収 入	資 本 的 収 入	12,675,070
	企 業 債	10,996,000
	国 庫 補 助 金	225,000
	出 資 金	1,329,950
	固定資産売却代金	10
	諸 収 入	124,110
支 出	資 本 的 支 出	21,408,307
	建 設 改 良 費	3,255,605
	企 業 債 償 還 金	18,076,273
	国 庫 補 助 金 返 還 金	26,429
	予 備 費	50,000

2 工業用水道事業

(1) 事業の概要

この事業は、揖保川工業用水道及び市川工業用水道を運営し、姫路市西部臨海部及び姫路市臨海部等の工業地帯に、また、加古川工業用水道を運営して東播磨臨海部の工業地帯に工業用水を供給するもので、平成18年度の事業別給水状況は第1表のとおりです。

また、改良事業として工業用水の安定供給を図るため、中央監視制御設備更新工事等を実施しましたが、その主な事業の平成18年度の執行状況は第2表のとおりです。

第1表 平成18年度工業用水道別給水状況

水系	給水区域	計画給水量 m ³ /日	契約水量 m ³ /日	取水地点
揖保川第1工業用水道	姫路市	257,880	257,880	姫路市余部区上川原（揖保川左岸）
揖保川第2工業用水道	姫路市、揖保郡太子町	75,800	75,800	姫路市余部区上川原～上余部
市川工業用水道	姫路市	140,000	115,680	姫路市飾磨区妻鹿（市川左岸）
加古川工業用水道	加古川市、高砂市、明石市、加古郡播磨町	500,000	227,900	加古川市（加古川右岸）
合計		973,680	677,260	

第2表 主な事業の執行状況

区分	事業費	事業概要
施設改良費	千円 400,757	養老ポンプ場中央監視制御設備更新工事、揖保川工水管理所耐震補強工事等

(2) 経理の状況

ア 予算の執行状況について

収益的収入及び支出並びに資本的収入及び支出の予算の執行は、第3表のとおりです。

第3表 予算の執行状況

1 収益的収入及び支出

(1) 収入

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額 _A	執 行 額 _B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 工業用水道事業収益	3,737,274	3,856,509	103.2
第1項 営業収益	3,686,905	3,724,839	101.0
第2項 営業外収益	50,359	131,670	261.5
第3項 特別利益	10	0	0.0

(2) 支出

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額			執 行 額 _B	$\frac{B}{A} \times 100$
	現計予算額	繰越事業費	計 _A		
第1款 工業用水道事業費用	3,308,072	0	3,308,072	3,224,202	97.5
第1項 営業費用	2,785,112	0	2,785,112	2,731,586	98.1
第2項 営業外費用	495,472	0	495,472	485,149	97.9
第3項 特別損失	7,488	0	7,488	7,467	99.7
第4項 予備費	20,000	0	20,000	0	0.0

2 資本的収入及び支出

(1) 収入

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額			執 行 額 _B	$\frac{B}{A} \times 100$	翌年度繰越額
	現計予算額	繰越事業費	計 _A			
第1款 資本的収入	456,820	42,900	499,720	497,704	99.6	0
第1項 企業債	445,000	32,000	477,000	477,000	100.0	0
第2項 国庫補助金	1,810	10,900	12,710	12,710	100.0	0
第3項 固定資産売却代金	10	0	10	0	0.0	0
第4項 諸収入	10,000	0	10,000	7,994	79.9	0

(2) 支 出

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額			執行額 B	$\frac{B}{A} \times 100$	翌年度 繰越額
	現計予算額	繰越事業費	計 A			
第1款 資本的支出	1,994,954	44,001	2,038,955	1,976,899	97.0	17,955
第1項 建設改良費	440,293	44,001	484,294	432,241	89.3	17,955
第2項 企業債償還金	1,544,054	0	1,544,054	1,544,053	99.9	0
第3項 国庫補助金返還金	607	0	607	605	99.7	0
第4項 予備費	10,000	0	10,000	0	0.0	0

(3) 企業債、他会計借入金及び一時借入金の現在高

平成19年3月31日の現在高は、第4表のとおりです。

なお、平成19年3月31日現在、一時借入金はありません。

第4表

(単位 千円)

区 分	前年度末残高 (18. 3. 31)	期 中 増 減		期末現在高 (19. 3. 31)
		借 入	返 済	
企 業 債	18,404,184	477,000	1,544,053	17,337,131
他 会 計 借 入 金	6,000,000	0	0	6,000,000

(4) 平成19年度の事業及び予算の概要

ア 業務の予定量

- (ア) 給水事業所数 98事業所
- (イ) 年間総給水量 250,733,845立方メートル (対前年度比 100.4パーセント)
- (ウ) 1日平均給水量 685,065立方メートル
- (エ) 主要な改良事業
 施設改良費 993,364千円 工業用水の安定供給に努めるため、市川工業用水道及び加古川工業用水道の水管橋耐震補強工事等を実施することとしています。

イ 予算の概要

(ア) 収益的収入及び支出

(単位 千円)

区 分		予 算 額
収 入	工業用水道事業収益	3,727,991
	営業収益	3,695,620
	営業外収益	32,361
	特別利益	10
支 出	工業用水道事業費用	3,322,432
	営業費用	2,869,672
	営業外費用	411,566
	特別損失	21,194
	予備費	20,000

(イ) 資本的収入及び支出

(単位 千円)

区 分		予 算 額
収 入	資本的収入	1,167,466
	企業債	1,160,000
	固定資産売却代金	10
	諸収入	7,456
支 出	資本的支出	3,351,757
	建設改良費	1,021,963
	企業債償還金	2,319,794
	予備費	10,000

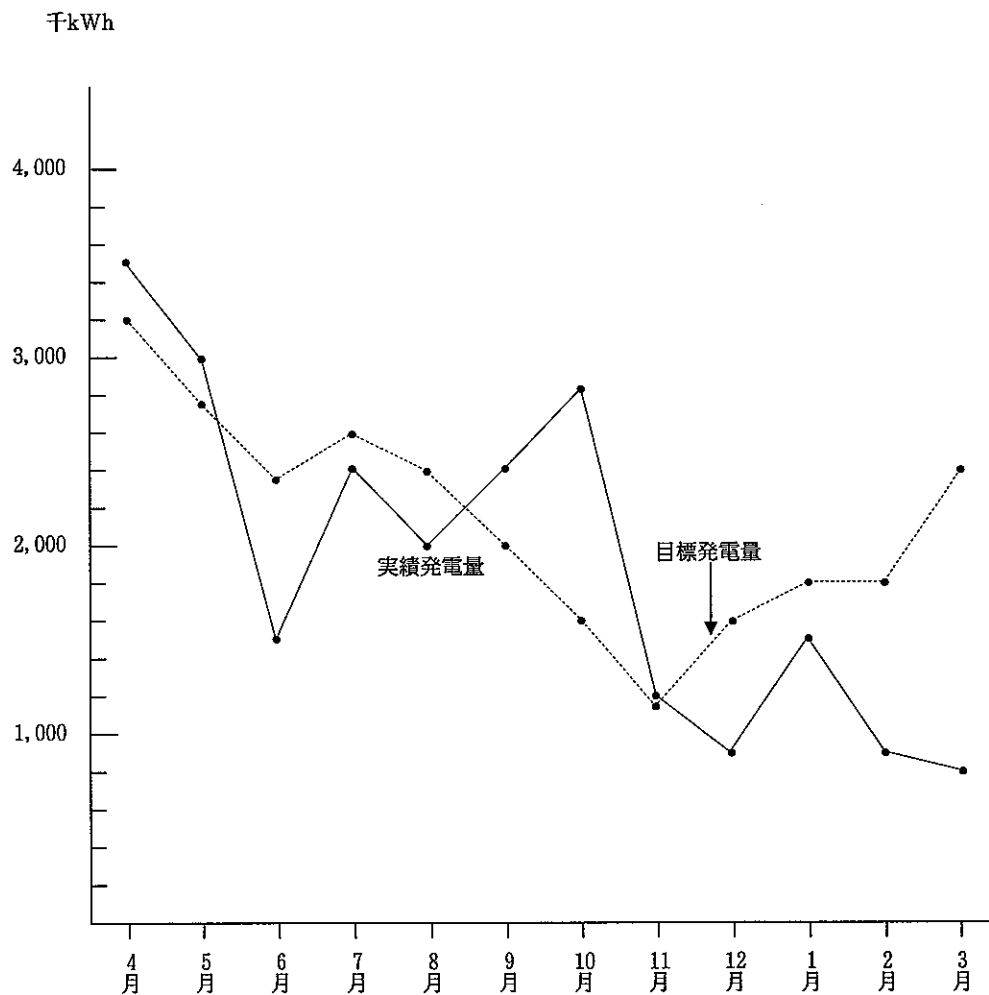
3 電 気 事 業

(1) 事業の概要

この事業は、揖保川総合開発事業の一環として建設された引原ダムを利用して発電を行い、関西電力株式会社に売電しているものであり、平成18年度の月別電力供給状況は第1図のとおりです。

第1図 平成18年度月別電力供給状況

実績発電量23,038千kWh
(目標発電量25,600千kWh)



(2) 経理の状況

ア 予算の執行状況について

収益的収入及び支出並びに資本的収入及び支出の予算の執行状況は第1表のとおりです。

第1表 予算の執行状況

1 収益的収入及び支出

(1) 収 入

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額 A	執 行 額 B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 電気事業収益	305,352	298,900	97.9
第1項 営業収益	292,048	285,490	97.8
第2項 営業外収益	13,294	13,410	100.9
第3項 特別利益	10	0	0.0

(2) 支 出

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額 A	執 行 額 B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 電気事業費用	281,095	272,430	96.9
第1項 営業費用	246,753	242,372	98.2
第2項 営業外費用	31,312	30,058	96.0
第3項 特別損失	30	0	0.0
第4項 予備費	3,000	0	0.0

2 資本的収入及び支出

(1) 収 入

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額 A	執 行 額 B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 資本的収入	10	0	0.0
第1項 固定資産売却代金	10	0	0.0

(2) 支 出

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額 A	執 行 額 B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 資本的支出	65,719	62,550	95.2
第1項 建設改良費	18,532	18,363	99.1
第2項 企業債償還金	44,187	44,187	100.0
第3項 予備費	3,000	0	0.0

(3) 企業債及び一時借入金の現在高

企業債の平成19年3月31日の現在高は第2表のとおりです。

なお、平成19年3月31日現在一時借入金はありません。

第2表 企業債明細書

(単位 千円)

前年度末残高 (18.3.31)	本年度増減		本年度末残高 (19.3.31)
	発行高	償還高	
447,941	0	44,187	403,754

(4) 平成19年度の事業及び予算の概要

ア 業務の予定量

年間の販売電力量は、25,600,000kWh を目標にしています。(前年と同じ)

イ 予算の概要

(ア) 収益的収入及び支出

(単位 千円)

区	分	予 算 額
収 入	電 気 事 業 収 益	299,289
	営 業 収 益	294,330
	営 業 外 収 益	4,949
	特 別 利 益	10
支 出	電 気 事 業 費 用	283,744
	営 業 費 用	251,867
	営 業 外 費 用	28,847
	特 別 損 失	30
	予 備 費	3,000

(イ) 資本的収入及び支出

(単位 千円)

区	分	予 算 額
収 入	資 本 的 収 入	10
	固 定 資 産 売 却 代 金	10
支 出	資 本 的 支 出	51,496
	建 設 改 良 費	7,389
	企 業 債 償 還 金	41,107
	予 備 費	3,000

4 水源開発事業

(1) 事業の概要

この事業は、西脇市及びその周辺地域における将来の水需要に対応するため、農林水産省と共同で靴屋ダム（多可郡多可町）の建設に着手したものです。ダムは平成2年度末に完成し、現在、日量30,000立方メートルの工業用水を確保しています。

なお、本年度は管理費として29,792千円を負担しました。

(2) 経理の状況

ア 予算の執行状況について

資本的収入及び支出の予算執行状況は第1表のとおりです。

第1表 予算の執行状況

資本的収入及び支出

(1) 収入

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額 A	執 行 額 B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 資本的収入	170,480	170,480	100.0
第1項 他会計からの長期借入金	140,518	140,518	100.0
第2項 一般会計補助金	29,962	29,962	100.0

(2) 支出

(単位 千円、%)

区 分	予 算 現 額 A	執 行 額 B	$\frac{B}{A} \times 100$
第1款 資本的支出	170,480	170,479	99.9
第1項 建設改良費	71,288	71,288	100.0
第2項 企業債償還金	99,192	99,191	99.9

(3) 企業債及び一時借入金の現在高

企業債の平成19年3月31日の現在高は、第2表のとおりです。

なお、平成19年3月31日現在一時借入金はありません。

第2表 企業債明細書

(単位 千円)

前年度末残高 (18.3.31)	本 年 度 増 減		本年度末残高 (19.3.31)
	発 行 高	償 還 高	
771,035	0	99,191	671,844

(4) 平成19年度の事業及び予算の概要

ア 業務の予定量

(ア) 事業費 110,030千円

(イ) 主な事業

糞屋ダム管理費の一部を負担します。

なお、この事業は西脇市から工業用水事業化要望を受け、事業に着手したのですが、その後の状況変化により、西脇市は事業化を断念し、市の負担も平成10年度末で清算しました。

平成11年度以降は、渇水時、災害時等の危機管理に対応できる行政施策上のメリットがあること等から、県民の貴重な水源を確保するため、一般会計の支援を受けながら、平成19年度においても事業を継続しようとするものです。

イ 予算の概要

資本的収入及び支出

(単位 千円)

区 分		予 算 額
収 入	資 本 的 収 入	211,517
	他会計からの長期借入金	137,518
	一 般 会 計 補 助 金	73,999
支 出	資 本 的 支 出	211,943
	建 設 改 良 費	110,030
	企 業 債 償 還 金	101,913

5 地域整備事業

(1) 事業の概要

この事業は、工業用地や都市開発用地などの取得、造成及び供給並びにこれらにあわせた施設整備等を行い、調和のとれた県土の創造に寄与しようとするものです。

なお、地域別推進状況は第1表、主な事業の執行状況は第2表のとおりです。

ア 阪神地域

「潮芦屋」・「尼崎臨海」・「神戸三田国際公園都市」では、阪神・淡路震災復興計画における多核・ネットワーク型都市圏形成の一翼を担うプロジェクトとして整備を進めています。

潮芦屋では、民間活力の導入を図りながら、ユニバーサルデザインを基本とした安全・安心でウォーターフロントを活かした住宅街区、マリーナ等の機能を持つ魅力あるまちづくりを進めています。

尼崎臨海地区では、「尼崎21世紀の森構想」の先導整備拠点地区として位置づけられており、工場跡地等の土地利用転換を図り、水と緑豊かな環境の回復・創造、環境共生のまちづくりを目指すこととしていますが、企業庁ではこれらのうち、「産業の育成・支援拠点」及び「産業・まち交流拠点」の整備を進めています。

神戸三田国際公園都市では、快適な居住空間と教育研究、生産流通、商業機能等を備えた生活文化、情報豊かな複合機能都市の形成を目指します。

イ 播磨地域

播磨科学公園都市は、西播磨地域のたつの市、上郡町及び佐用町にまたがる丘陵地に、豊かな自然環境のなかで21世紀の科学技術の発展を支える学術研究機能と優れた先端産業の集積を中心に、快適な居住環境を備えた「人と自然と科学が調和する高次元機能都市」を目指しています。

また、ひょうご情報公園都市は、緑豊かな自然環境と、恵まれた高速交通基盤、大都市に近接している立地特性等を生かし、「人、もの、情報が交流する魅力ある都市の創造」を基本コンセプトに都市づくりを推進しています。

ウ 淡路地域

淡路公園島づくりの一環として、淡路島の持つ自然と文化を最大限に生かしながら、価値観やライフスタイルの多様化に対応した新しい生活・交流空間の形成を図ることとしています。

このうち、志筑地区では、「淡路ワールドパークONOKORO」などによる淡路公園島構想の推進に資する土地利用を図ることとしています。また、生穂地区では、中長期的な視点に立って、公共目的の利用も含め、淡路市の活性化につながる土地利用方策を検討することとしています。一方、佐野地区では、淡路におけるスポーツ振興の拠点となる「兵庫県立淡路佐野運動公園」が、平成15年5月に開園しています。

また、北淡路地域の淡路島国際公園都市においては、淡路夢舞台を中核施設として「コミュニケーション都市」の形成と阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた安全なまちづくりを目指しています。

また、「野島断層保存館」では、阪神・淡路大震災の“生きた教材”ともいえる「野島断層」を保存・展示しています。

第1表 地域別推進状況

区 分	造 成 目 的	前年度までの 売却面積	本年度売却分	本年度末現在の 売却累計
阪 神 地 域	都市機能用地 レクリエーション用地等造成	ha 272.2	ha 10.8	ha 283.0
	住宅用地 公益的施設用地等造成	294.2	2.0	296.2
播 磨 地 域	工業用地等造成	315.6	0.0	315.6
	新都市機能用地等造成	138.2	7.6	145.8
淡 路 地 域	レクリエーション用地等造成	83.7	4.4	88.1
	都市機能用地等造成	82.1	0.0	82.1
合 計		1,186.0	24.8	1,210.8